

令和 7 年度
東京都社会的養護自立支援協議会（第 2 回）
議 事 録

令和 7 年 8 月 2 0 日
東京都社会的養護自立支援協議会

(午後 2時01分 開会)

○六串課長 それでは定刻を過ぎておりますので、始めさせていただきます。

本日はお忙しいところご出席いただきまして、ありがとうございます。ただいまから東京都社会的養護自立支援協議会、令和7年度の第2回を開催いたします。

子供・子育て支援部育成支援課長の六串と申します。よろしくお願いいたします。議事に入りますまでの進行を務めさせていただきます。

本日の会議はオンライン開催となっております。ご出席の委員におかれましてはカメラをオンにいただき、ご質問等の際にT e a m s の挙手機能などでお知らせをいただければと思います。ご発言の際はミュートを外して、お名前を名のっていただいてからご発言いただければと思います。よろしくお願いいたします。

資料について確認をさせていただきます。事前にお送りしているとおりですけれども、資料1から資料2-1、2-2、2-3がございます。不足等がございます方は適宜お知らせいただければと思います。会議中は画面共有もさせていただきます。

続きまして、出席委員の確認をさせていただきます。田中委員が本日急遽ご欠席というところでご連絡をいただいているところです。

この協議会は公開とさせていただきます。資料や議事録につきましては、後日、東京都のホームページのほうに掲載をする予定ですので、ご了承いただければと思います。

今回傍聴はございません。

また、議事録作成のための速記を委託しておりますため、速記者も今回参加をいただいておりますので、ご了承いただければと思います。

それでは、この後の進行は委員長にお願いしたいと思います。川松委員長、よろしくお願いいたします。

○川松委員長 こんにちは。よろしくお願いいたします。お盆を過ぎても猛暑が続いていますけれども、皆様お疲れだと思いますけれども、よろしくお願いいたします。

今日は前回に引き続きまして、実態把握調査の調査票の検討ということになります。事務局のほうで修正案を出していただいた後、委員の皆様からご意見等をいただきたいと思っております。

では、まず事務局からの調査票(案)について、ご説明をお願いいたします。

○水上課長代理 私からご説明させていただきます。画面を共有させていただきます。資料2-1をご確認いただければと思います。

前回の第1回の協議会におきまして、様々なご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。主な意見といたしまして、一番上の四角の中に書かせていただいておりますけれども、まず設問数が多いということでしたので、設問数を減らすですとか、それからスマホに対応できるようにする、それから、前回調査が施策に反映されているというところをPRしたらどうか、PRすることによって、回答したいと思わ

せるような工夫が必要というところで、回答率を上げるための工夫についてご意見をいただいたところです。

それから、また、施設、里親の皆様とのつながりのある方が調査の対象者となっておりますけれども、ふらっとホームを利用している社会的養護経験者等の「等」に当たる方ですね、社会的養護未経験者の方の状況についても把握できるようにしたらよいのではないかとのご意見をいただいたところです。

そのほか、月収よりも年収のほうが答えやすいのではないかとか、全体的に言葉が難しいので易しい言葉を使ったり、難しい用語には注釈を入れたらどうかというようなご意見、それから選択肢がちよっと足りない、増やしたほうがよい設問があるといったご意見をいただいたところでございます。

また、菅原委員のほうで、自立支援担当職員などで構成されています自立支援委員会、こちらからのご意見もいただいております、具体的なご意見の反映については、後ほどご説明したいと思います。

このようなご意見を踏まえまして、調査票を修正させていただいておりますので、その修正版についてご説明したいと思います。真ん中の四角のところをご覧ください。まず、設問数を減らす目的で、誤差率が高くてデータの有効性が低いような設問、それから施策への反映が難しいような設問、こちらを洗い出しまして、設問数はもともとの82問から64問まで減らしております。

それから、調査対象者向けの依頼文の中に、前回調査が施策に反映されている事例ということで、こちらの資料2-3を先にご確認いただければと思いますが、こちらがアンケートの調査対象者に送付する、ご協力をお願いの通知ですけれども、こちらの真ん中ほどに、前回調査の結果から事業が生まれていますよというところをPRしております。

それから、また、社会的養護の未経験者についての対応ですけれども、日向ぼっこの木本委員をはじめ、現在ふらっとホームを実施していただいている3事業者にヒアリングをさせていただきました。その結果といたしまして、協力していただける方の母数がなかなか少ないということと、全体に調査する調査項目の設問では、なかなか対応し切れない部分がある、内容を変えたほうがよかろうというところも踏まえまして、調査に組み込んでという対応ではなくて、別途インタビュー形式で状況を把握できるようにしたいと、今、検討しているところです。

それから、先ほどの設問の言葉が難しいところ等については、易しい表現に変えておりますし、難しい用語については注釈を入れさせていただいて、選択肢についても一部追加をさせていただいております。

それから、前回の中ではお話はなかったんですけれども、就職後に退職した方が仕事を辞めた理由、こちらを問う設問がありませんでしたので、こちらを問10番に、1問追加をしております。

自立支援委員会からのご意見について、幾つか反映しておりますので、資料2-2をご確認いただきながらご説明したいと思いますが、具体的には25番の年収を問う設問につきまして、ご結婚されている方ですとか、生活保護を受給されている方にも考慮いたしまして、9番、10番の選択肢を追加しております。

それから、問31番ですけれども、SNSにLINEが含まれないと勘違いされている方がいらっしゃるというご意見を踏まえまして、LINE等と明記しております。

それから、下の32番の問いですけれども、5段階で施設等との連絡の頻度を問う設問でしたけれども、こちらは分かりやすくするために、3段階に分けまして、さらに選択肢で回答できるように変更しております。

また、62番の犬を飼いたいという表現があったんですけれども、犬に限定する必要はないだろうというところで、ペットという表現に丸めております。

さらに、もっと柔らかいフォントがいいのではないかと、漢字にルビを振ってほしいというようなご意見もございましたので、こちらの溶け込みの調査票の案のほうには、全てフォントを丸くさせていただいて、振り仮名を全部振っております。このような形で反映をしたいと思っております。

このようにいろいろなご意見を反映させていただいております。こちらの内容で調査を実施したいと事務局としては考えております。

今後のスケジュール、できれば9月の当初から調査を開始したいと考えておりますので、皆様のご意見をいただければと思います。

説明は以上です。よろしく願いいたします。

○川松委員長 ありがとうございます。丁寧にご検討いただきありがとうございます。

それでは、委員の皆様からご質問やご意見がございましたら、お出しいただきたいと思っております。いかがですか。ご意見をお願いしたいと思っておりますが、よろしく願いします。どなたからでもお願いいたします。

○細野委員 カリヨンとびらの家の細野です。今日は画面オフで申し訳ありません。

○川松委員長 細野さん、お願いします。

○細野委員 20問少ないだけで、やっぱりケアリーバーの方々は本当にやりやすくなったと思います。もう本当によかったと思います。

以上です。

○川松委員長 ありがとうございます。結構削るのは大変だったと思いますが、それでも多いかもしれないけど、削れてよかったと思います。ありがとうございます。

ほかの方はどうでしょうか。

ちょっと私から気になるところを申し上げたいんですけど、よろしいですかね。

8番ですけど、8番の設問が、最後に生活していた施設等を退所した直後の主な進路を教えてくださいとなっているんですけど、直後を質問しているんですけど、選択肢

は現状を聞いているみたいにとれるんですけど、当時働いていた職場で引き続き今働いているとか、就職したんだけど今は退職しちゃったとか、当時通っていた学校に今も通学しているとか、何か問いと選択肢が対応していないように思ったんですけど、直後のことじゃなくて、選択肢は今のことを聞いているので、最後に生活していた施設等を退所したときの進路に対して、現在どうなっているかを聞いていると思うんですけど、設問文を変えたほうがいいんじゃないかなと。

○六串課長 そうですね。ありがとうございます。

ここは、まず一つは施設を出て一旦進学をした後、卒業して今は就職していますというときには、どちらを答えるかという、進学後のその後の状況を回答いただきたいということで、進学し、その後は卒業したというところでご回答いただくという前提で、この設問自体はなるべく問いの数を減らすために、直後の進路と、その後の状況を合わせて一つの設問にまとめたというところではあるんですけども、ご指摘のとおり、今、質問の仕方が分かりにくいので、こちらの意図する質問、この選択肢に対してふさわしい、もう少し、今、川松先生からご示唆いただいたような、施設等を退所した後のその後の進路について教えていただきたいというような質問に見直してまいりたいと考えます。

○川松委員長 ありがとうございます。あるいは、退所直後の進路をまず聞いて、現在を聞くという2段階で質問を作って、そうすると設問数が増えちゃいますけど、というのもありかなと思ったりしました。ちょっとご検討いただけたらと思います。

○六串課長 はい。ありがとうございます。

○川松委員長 あと、ここの4の選択肢が、進学したが、その後卒業したというのはちょっと違和感があって、進学して、その後卒業した、「が」というのが、何か前と。

○六串課長 否定のような感じで。

○川松委員長 ええ。

○六串課長 ありがとうございます。

○川松委員長 何となくそこら辺も気になりました。

○六串課長 進学し、その後、卒業したというふうに修正させていただきます。

○川松委員長 あと32番で、本当にささいなことですけど、施設等との連絡の頻度が足りないというのが、足りないでいいのかな、少ないじゃないのかなと思ったりしたんですけど、足りないのほうがいいんですかね。少ないか多いかを聞いているような気がしたんですけど、足りないというのがちょっと違和感があったんですけど、どっちがいいのかが。足りないというと主観を聞いているので、自分にとってどっちがいいのか、ちょっと迷うんですけど、少ないのほうがいいような気がしました。ご検討いただけたらと思います。

○六串課長 ありがとうございます。

○川松委員長 あと38番ですけど、施設を退所（委託解除）したときって書いてあっ

て、委託解除のほうは里親の委託解除のことを意味していると思うんですけど、委託解除という言葉が通じるのかなというのがちょっと気になった。施設を退所って書いてあるから、施設は退所するんだなって思ってもらえると思うんですけど、里親さんのところから離れたというイメージが委託解除で持ってもらえるのかどうか、ちょっと疑問に思ったんですけど、最後に施設を退所（里親委託を解除）とか、里親という言葉を入れたほうがよくないかなと思ったんですけど、その後もずっと括弧で委託解除という言葉が出てくるんですけど、委託解除って意味が分かるかなというのがちょっと気になりました。どうですかね。分かりますかね、これで。

○六串課長 ありがとうございます。ご指摘のとおり、本来は上のほうの質問の中で、里親なのか施設なのかというところを回答いただくところがありまして、里親を選択した時点で、その後の設問が全て里親から巢立ったというようなニュアンスの質問に全て置き換えられるとよかったですけど、そういった形での仕様上の対応が難しいという現状で、なるべくこういった括弧書き、注釈などで対応しようと考えていたところでした。

依頼文の中で、里親の方は施設等に里親を含んでいるということと、とはいえ退所とは言えないので、委託解除というふうに括弧で入れるという苦肉の策ではあったんですけども、どうしてもここがご指摘のとおり分かりづらいので、もう少し、どうせ括弧で入れるのであれば、里親を委託解除まで入れたほうが、注釈がどこかにあったとしても、設問の中に入っていたほうが分かりやすいということでしょうか。

○川松委員長 そのほうがいいのかなと思いました。

○六串課長 分かりました。ちょっと検討させていただきます。ありがとうございます。

○川松委員長 よろしくお願ひします。

あと42と43が、何を選択するのかがぱっと見て分からなかったんですけど、回答するとき、親についてはイ、ロ、ハ、ニ、ホを選ぶ、親族についてもイ、ロ、ハ、ニ、ホを選ぶって、全部1から7までについて、それぞれイ、ロ、ハ、ニ、ホのどれかを選ぶという形で回答するんですか。

○水上課長代理 はい。そのとおりです。

○川松委員長 じゃあ、イ、ロ、ハ、ニ、ホって上に来ているので、まずイ、ロ、ハ、ニ、ホを選んでから、1、2、3、4、5、6、7を選ぶのかなと最初思ったんですけど、そうじゃないと。

○水上課長代理 そうですね。なので、①から⑦を上を持ってきたほうが分かりやすいですね。それぞれの親ですとか親族、それぞれについて、どのぐらい支えてもらったかというのを選択していく形になります。

○川松委員長 43もそうなんですね。

○水上課長代理 同じです。はい。

○川松委員長 そうすると、42の①について、五つの選択肢があって、どれかを選ん

で、42の②についても五つの選択肢からどれかを選ぶ。だから、42と43はクリック回数が合わせて13回になるということですね。

○水上課長代理 そうですね。42または43は。

○川松委員長 そうか、42と43はかぶらないですね。

○水上課長代理 かぶらないようには設定できていますので、そうですね。はい。

○川松委員長 では、42では7回分チェックを入れるということになるんですか。

○水上課長代理 はい。

○川松委員長 分かりました。はい。それがどういうふうになっているのかが分からなかったもので。

あと、47番の②で、一時保護所職員が出ているんですけど、施設を退所した人に一時保護所職員が継続的に対応しているというのが想定できないなと思ったんですけど、②の選択肢は必要なんですかね。

○水上課長代理 そうですね、生活していたときから現在までというふうになると、確かにその後一時保護所の職員と関わるということはないと思いますので、設問の仕方がというところで、施設に入るとき、入る手前で一時保護所に入っていた方の場合は、そのときどうだったかというところを確認したい問いなんですけれども、設問でそれが読み取れないですよ。

○川松委員長 今関わってもらっているかどうかを聞いているのかなと思って、今関わってもらって、いい思いができているかどうかを聞いているのかなと思ったものだから、一時保護所の職員っておかしいなと思ったんですね。

○水上課長代理 そうですね。

○川松委員長 当時ですか。

○水上課長代理 そうですね。

○川松委員長 当時の関わり、そうすると問題文が分かりにくいかもしれないですかね。

○水上課長代理 はい。修正したいと思います。

○川松委員長 ご検討、お願いします。

私は細かいところもありますけど、気になったところは以上です。

木本さん、手を挙げてらっしゃるけれども、お願いします。

○木本委員 一つは形式的なことなんですけれども、何か所か前問って書いてあったり、前の質問に対する続きのお答えとかで、前問という表示になっているときと、それから番号が書いてあったりするんですね。例えば22と23のところは、22で何とかかんとかって書いてあるんですけども、別のどこかでは前問でとか、形式的なことなんですけど、二つばらばらあるなと思ったのが一つです。

あとは、前回私は途中で抜けてしまって申し訳なかったんですけども、その後、スタッフなんかと話したときに、選択肢の中にこれが入っていないねというのがあったので、それをお伝えできたらと思います。

一つは33番の選択肢の中で、交流したくても機会がない云々というのがあるんですけども、この選択肢の中に、33番なんですけど、私たちが関わる中で一番よく交流が少ない場合で聞くのは、施設や職員に迷惑をかけたくないからというのが結構出てくるんですね。なので、それを入れていただいたほうがいいのかなという意見が出ましたのが一つ。

それから51番ですかね。困ったことはどのようなことですかということで、退所した直後にというところで、これも結構出るお答えとして、服薬の管理、これが自分でするのが難しいという声が結構聞かれるんですね。なので、これが選択肢に入っていないなという意見が出ました。

それから55番ですかね。これは54番の具体的なことを聞いているんでしょうかね。ちょっと質問の文面というか。15、16以外を選んだ方ということで、そういう意味でいいんですかね。

○水上課長代理 そうですね。54番の設問を選んだ方に、その具体を聞いている質問になります。

○木本委員 ここで、前問でとかという文言がないので、ナンバー幾つとかでというのがないので、読まれた方がすぐ前の質問だと思ってくださるとは思ったんですけど、明示しておいたほうがいいのかなと思いました。

○水上課長代理 ありがとうございます。

○木本委員 以上です。

○川松委員長 ありがとうございます。

ほかの方からはいかがですか。

能登さん、お願いします。

○能登委員 私もずっと読んでいて、すごく、最初に施設等というのがあるって、括弧してあって、里親も含まれますというのがあるんですけど、どんどん読んでいくと、何かよく分からなくなって、また前に戻ったりというようなことで、やっぱり含まれていたんだというのを確かめて、また読み始めたみたいなのところがあったので、どこかで里親も含むというのがもう少しあったらいいのかなというふうには思いました。

それから、23のところ、配偶者と、それから交際中の人、パートナーというのが並列で書いてあるんですけど、配偶者がいるというのと、交際中とかパートナーというのでは、何か安定感が違うような気はするので、配偶者と交際中とかパートナーというのは分けて答えてもらったほうがいいのかなということと、あと25番なんですけど、収入のことで、生活保護とかというのはあるんですけど、障害年金を受給していて、プラス働いているというようなこともあるので、障害年金受給みたいなのも入れてもらったほうがいいのかなというのを思いました。

以上です。

○川松委員長 ありがとうございます。25番に障害年金受給中を入れるですかね。

これはあれですかね。生活保護受給中と、1から8までと複数回答してくる人がいますかね。

○六串課長 そうですね。障害年金ですと、おっしゃるとおり、生活保護プラス障害年金というパターンはあると、もともと想定していたのはどこか一つを選んでいただく想定で、生活保護であれば、併せて就労している収入があるとしても、生活保護を選んでいただく想定だったのですが、障害年金も入れるとすると、どういう仕様にするのがベストなのかは、少し検討が必要かなというところです。

○川松委員長 そうですね。どれか一つを選ぶというのが難しいような。ちょっとご検討をお願いします。ありがとうございます。

ほかにはいかがでしょうか。大体よろしいですか。

今いろいろとご意見いただきましたので、事務局のほうでご修正いただきまして、この後は事務局と委員長のほうで調整で、一任させていただいてもよろしいでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

○川松委員長 では、事務局と調整して、進めさせていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

今日の議題はこれだけなので、結構早く終わりそうなんですけど、ほかに皆様。

ちょっと気になるのは、インタビューは何人ぐらいの方に対して、いつ頃、また、そのインタビューの設問を結構練る必要があるかなと思ったんですけど、その辺りはどうされるのか、ご説明をお願いしてよろしいですか。

○水上課長代理 正直、まだ固まっていないところではあるんですけども、ふらっとホームの3事業者の方にヒアリングをさせていただいた際には、複数名それぞれいらっしゃるといってお話をいただいているので、そこが母数になろうかなと思っています。なので、10名程度、全体でできればなというふうに考えています。

今回、これから行う調査の結果も見ながら、それも踏まえて、じゃあ未経験の方にはこういった質問をしたらどうかというようなところを検討できればなと思っていますので、具体的なインタビューの中身については、もう少し調査の結果も踏まえながら検討させていただいて、また委員の皆様と確認させていただければなというふうに考えております。

○川松委員長 ありがとうございます。また改めて、よろしくご検討をお願いします。

皆さんのほうから、ほかに何か気になっていることとか、言っておきたいこととか、ご意見はございませんか。大丈夫そうですか。

菅原さん、お願いします。

○菅原委員 アンケートの項目は水上さんのほうで調整していただいて、ありがとうございました。委員会のほうからも意見が伝えられてよかったなと思っています。

自立支援担当の職員のほうから私が言われているところは、とにかく前回よりも回答

率を上げたいというところがすごく強く言われていて、やっぱりそこを何とかしたいんだという話はたくさん出ていました。その中で、調査方法なんですけども、基本的に児童養護施設の場合は紙ベースということになるということでしょうか。

○水上課長代理 回答は基本的に全て皆さん、ウェブで回答いただくので、郵送等でご案内するというだけです。

○菅原委員 なるほど。そうすると、G o o g l eフォームになるのかどうか分からないんですけど、そういうような形で回答していただく形式ということですかね。

○水上課長代理 そうですね。今、調査の委託の中でフォーマットを作っていますので、そちらで回答していただくことになります。

○菅原委員 分かりました。施設の退所者で、対面というのは難しいですかね、対応するのは。

○水上課長代理 想定はしていませんでしたけれども、インタビュー形式とかを併用するというようなイメージですか。

○菅原委員 そうですね。何人か、そのほうがいい退所者がいるという話は聞いているので、もし対面の調査をふらっとホームとかでやるのであれば、同じような形で児童養護施設でもできるとありがたいなというふうにちょっと思いました。

ありがとうございます。

○川松委員長 フォーマットじゃなくて、対面で聞き取りをする方も交えてという、両面です。

○菅原委員 そうですね。そのほうがいい退所者がいるというふうには聞いています。

○川松委員長 なるほど。でも、その方がフォーマットのほうで回答していないということを確認しないと、回答がダブっちゃう可能性がありますか。

○菅原委員 はい。何人かは、やっぱりフォーマットで回答するときに、例えば施設に来てもらって、一緒にやらないと難しいんじゃないかという人もいるということだったので。

○川松委員長 分かりました。そういう調査手法についても、複数ということでご検討をお願いします。その人に施設に来てもらって、一緒にやるということですよ。はい。分かりました。連絡を取っていただくときに、施設で連絡を取って、調整していただくような感じですかね。

では、ほかには。

○能登委員 すみません。能登です。

○川松委員長 どうぞ。

○能登委員 里親のほうも、やっぱり回答率がいつも低いというようなことで、どうしたら回答率が上げられるのかなということで、私も身近な人に何人か聞いてみたんですけど、東京都からその連絡、私たちの里親のほうに、連絡が取れるおうちがどれぐらいありますかというような調査があったんですけど、それに回答していない里親さ

んって結構多かったんですね。

それで、一つは養育家庭の会で、全員にメール配信できるようなシステムがあるので、できたらそこでこういう効果があるので、今からでも遅くないのでということで、フォーマットがあれば、それを送ってやってもらえればできるというふうに思うので、その辺のところができるかどうかということの許可と、あと今、フォスタリング機関で自立支援相談員の人たちが個々のお子さんのところに行ってお話を聞いたりとか、いろいろやっているんですね。そこに調査依頼をしてやっていただくと、数としては増えるんじゃないかということで思ったので、その辺のところをご検討いただければというふうに思います。よろしくをお願いします。

○六串課長 事務局です。今の能登委員のご意見なんですけれども、この調査の設計上、あらかじめ事前の調査の中で、その対象者として把握した方にIDを付与しまして、まず母数の管理の観点と、もう一つ、その謝礼のお渡しの観点、IDとその回答というところを管理しているという仕組みになってございます関係上、今から事前の調査の中にはエントリーしていなかったけれども、フリーな回答のような形でご協力いただくという形が、どうすれば可能なのかも含めて、ご意見を踏まえて、検討させていただければと思います。

○川松委員長 じゃあ、よろしくご検討ください。

ほかにはいかがですか。よろしいでしょうか。

(「なし」との声あり)

○川松委員長 じゃあ、これから調査票と調査手法についてご検討いただいて、確定いただいて、9月から実際に実施に入るということですので、10月までということで。調査結果が上がってきたら、また次は11月にその結果を基にこの検討会を行うということになるのかなと思います。

では引き続き、調査を進めていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

今日の議事は以上で終了ということになります。皆さん、お疲れさまでした。

事務局のほうにお返しします。よろしくをお願いします。

○六串課長 川松委員長、委員の皆様、貴重なご意見をありがとうございました。本日のご意見を踏まえまして、調査を実施してまいりたいと思います。

また、本日いただいたご意見もできる限り反映できるよう、最後のところは川松委員長にご相談させていただければと思いますので、引き続きよろしくお願いいたします。

それでは、これで本日の社会的養護自立支援協議会は終了とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

(午後 2時39分 閉会)